



伝承される
知恵と文化

記事内容は執筆者個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません。

スクールリーショナルワーカーだより



公おおやけと私わたくし

内容の責任は「堀川重敏」個人にあります。

還俗して以来14年、毎週日曜の『鉄腕 DASH』を観るのが楽しみです。

東北の廃村を、日本中の職人さんや農漁村の方たちの力を借り、DASH 村と名付けて再開拓。中でも地元・浪江町の農家さんたちの協力は強力で、開始当時はアイドルでしかなかった TOKIO が、いつの間にか農業の真似事が出来るまでに育てられました。そこに東日本大震災後の原発事故が起き、DASH 村は再び廃村に追い込まれます。

メンバーが五十路を迎えた今、『DASH 海岸』『DASH 島』に舞台を移し、ジャニーズの後輩が助っ人に参加して番組は続いています。

12月5日は、旧 DASH 村からそう離れていない、帰村が可能になった葛尾村に造られた田んぼで初めての稲刈り、そして食事会の様子が放送されました。

開村以来21年の米作りは、村人から TOKIO に、そして新しい世代へと伝承されたのでした。



さてこの『S SWだより』ですが、昨年初夏からこれまでに百号を超えました。

通信の内容は、書いているわたしも、どうだろうかと考えるものもありますが、S SWとしての12年間、学校生活を続ける事が難しい状況にある子どもたちを支えて来る間に、さまざまな職種の方々、講演や書物から学び、試行錯誤しながら取得した事を中心に書いています。

配布はメールでおこなっています。配布されたこの便りをどのように扱うか、受けた方の判断にお任せしています。



発行のきっかけは福田_前納所小校長とのお話の中で、特にお母さん方への力添えが必要と感じた

事に依ります。

日々、子どもを支えるために有形無形の力を注ぎながら、誰からもねぎらわれず、褒められる事のないあなたに、ささやかな励ましを届けたいとの思いで発行を始めた次第です。



通信のタイトルに示すように、この「記事内容は執筆者個人の見解であり、すべての方への有効性は保証できません」。

それを TOKIO たちが伝承する、農林水産の二千年の技になぞらえるのは、はなはだおこがましいのですが、わたしの知識と経験を『わたくし』せず、『おおやけ』にしなければ、これまでわたしを教え導いて来られた方々に申し訳ありません。

評価はあなたがするものですが、少しでも励ましになっているようでしたら、あなたと同じように、子どもを支えるために力を注いでいる方にもこの通信を読んでいただきたいのです。

そしてその方に、つらい思いをしている子どもや、子どもを支えるおとなを励ます材料にして頂けたらと、願います次第であります。

